

日本医師会女性医師支援センター事業について

定例記者会見資料
平成24年7月25日(水)



女性医師バンク運用状況 (平成24年6月末日現在)

- ◇求職登録者数 : 246名 (延べ646名)
- ◇求人登録施設数 : 1,384施設 (延べ1,566施設)
- ◇求人登録件数 : 918件 (延べ3,743件)
- ◇就業実績 : 319件
 - 内訳) 就業成立 : 302件
 - 再研修紹介 : 17件

「日本医師会女性医師バンク」平成19年1月30日開設

- ☆ 会員・非会員を問わず利用できる
- ☆ 求人・求職共に無料
- ☆ 現役医師がコーディネーターとして相談・マッチングにあたる



平成23年度女性医師支援センター事業

1. 女性医師バンクによる就業継続、復帰支援（再研修を含む）
2. 女子医学生、研修医等をサポートするための会
3. 各都道府県医師会での女性医師相談窓口の設置促進
4. 各都道府県医師会の女性医師支援についての情報交換
女性医師支援センター事業ブロック別会議の実施
5. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助
6. 女性医師のキャリア支援のためのDVD作成
7. 女性医師支援センターのホームページ作成
8. 「2020.30」推進懇話会の開催

女子医学生、研修医等をサポートするための会（1）

女子医学生や若い女性医師がキャリアを中断せずに就業を継続できるよう、講習会等を通じ、多様な女性医師像のモデルを提示する。

◇ 都道府県医師会等に対し、開催を依頼

（平成18-19年度は男女共同参画委員会が都道府県医師会と共催）

平成18年度*	10
平成19年度	25
平成20年度	44（医師会32、その他12）
平成21年度	47（医師会34、その他13）
平成22年度	56（医師会43、その他13）
平成23年度	57（医師会44、その他13）

*平成18年度はモデル事業として10道県のみ開催

◇ 開催に掛かる費用のうち、30万円を上限として、本会が負担

◇ 平成24年度

⇒ 「医学生、研修医等をサポートするための会」へ名称を変更

女子医学生、研修医等をサポートするための会（2）

女性医師支援事業連絡協議会

次 第

日時：平成24年2月17日（金）14時～16時
場所：日本医師会館 小講堂
司会：常任理事 保坂 シゲリ

開 会
挨 拶
議 事

女性医師支援センター センター長 羽生田 俊

1. 「女子医学生、研修医等をサポートするための会」事例発表 I
①青森県医師会、 ②東京都医師会、 ③神奈川県医師会、 ④愛知県医師会
(①～④についての質疑応答) - 休 憩 -
2. 「女子医学生、研修医等をサポートするための会」事例発表 II
⑤島根県医師会、 ⑥岡山県医師会、 ⑦広島県医師会、 ⑧愛媛県医師会、 ⑨鹿児島県医師会
(⑤～⑨について質疑応答)
3. 質疑応答（全体）・総合討論

閉 会

◇資料発表 : ⑩兵庫県医師会、 ⑪徳島県医師会、 ⑫福岡県医師会 出席者 : 131名



4

女性医師支援センター事業ブロック別会議

地域からの声をお聞かせいただくと同時に、本事業へのご理解を深めていただくという、双方向による情報伝達ならびに各地域内での情報交換の機会として、平成21年度より全国6ブロックにて開催。

【平成23年度開催実績】

- ◇近畿ブロック(平成23年10月2日 於:兵庫県医師会館、参加者 34人)
- ◇中部ブロック(平成23年11月13日 於:名古屋マリオット、参加者 41人)
- ◇中国四国ブロック(平成23年11月20日 於:ホテルグランヴィア広島、参加者 32人)
- ◇九州ブロック(平成23年12月4日 於:鹿児島県医師会館、参加者 53人)
- ◇北海道・東北ブロック(平成23年12月11日 於:ホテルトリトン仙台、参加者 40人)
- ◇関東甲信越・東京ブロック(平成24年1月28日 於:日本医師会館、参加者 39人)



5

平成24年度女性医師支援センター事業ブロック別会議 日程

- ◇北海道・東北ブロック(担当:青森県医師会)
日 時:平成24年12月9日(日)13時00分～ 場 所:青森市内
- ◇関東甲信越・東京ブロック(担当:日本医師会)
日 時:未 定 場 所:日本医師会館
- ◇中部ブロック(担当:愛知県医師会)
日 時:平成24年11月18日(日)にて調整中 場 所:富山市内
- ◇近畿ブロック(担当:大阪府医師会)
日 時:平成24年9月30日(日)14時～16時 場 所:ザ・リッツカールトン大阪
- ◇中国四国ブロック(担当:広島県医師会)
日 時:未 定 場 所:未定
- ◇九州ブロック(担当:福岡県医師会)
日 時:平成24年12月15日(土)または16日(日)にて調整中 場 所:福岡市内

医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助

各医師会が主催する講習会、講演会、研究会等に託児サービスを併設するための費用を補助し、育児中の医師に対して学習機会を確保することにより、勤務継続及び復職の支援を行う。

対象:都道府県医師会または郡市区医師会が主催する講習会、講演会、研究会 等

【利用実績】

	利用医師会数	利用者数 (子どもの数)
平成21年度	14医師会	102人
平成22年度	20医師会	231人
平成23年度	20医師会	174人

上記には、日本医師会利用分も含む

女性医師のキャリア支援のためのDVD作成（1）

女性医師のキャリア形成やライフスタイルのあり方を多くの女子医学生、研修医や若手の女性医師に伝えることを目的として、ロールモデルとなる女性医師の働き方や女性医師支援に携わる様々な立場の方々の考え方、取り組みを紹介するDVDを作成

DVDは3枚組でそれぞれ以下の内容を収録。(敬称略、肩書きは平成24年1月時点のもの)

1枚目：【講演編】

- ご挨拶
 - ・社団法人日本医師会副会長・日本医師会女性医師支援センターセンター長 羽生田俊
- 講演
 - ・日本医師会の女性医師支援について
社団法人日本医師会常任理事 保坂シゲリ
 - ・女性医師支援と男女共同参画
自治医科大学医学部長 桃井眞里子
 - ・女性医師キャリア支援
横浜市立大学大学院医科学研究科長、生体制御・麻酔科学主任教授 後藤隆久
 - ・女性医師支援が病院を活性化する
大阪厚生年金病院名誉院長・統括医療顧問 清野佳紀



8

女性医師のキャリア支援のためのDVD作成（2）

2枚目：【対談・インタビュー編1】

- ・私の選択(心臓血管外科、小児科)
東京女子医科大学心臓血管外科 立石実、青森県立中央病院小児科 會田久美子
日本医師会女性医師支援委員会委員、青森県医師会女性医師活躍推進委員 村岡真理
- ・二人三脚、医師夫婦の一例
福岡大学医学部外科学講座消化器外科 愛洲尚哉、日本医師会女性医師支援委員会副委員長 家守千鶴子
- ・行政で働く女性医師
厚生労働省大臣官房国際課課長補佐 高岡志帆、東京女子医科大学医学部第一生理学教室教授 川上順子
- ・今求められる医師像 医学教育の立場から
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授・医歯学教育開発センター長 田川まさみ
日本医師会女性医師支援委員会委員、青森県医師会女性医師支援室長 鹿島直子

3枚目：【対談・インタビュー編2】

- ・産婦人科の女性医師として
都立多摩総合医療センター産婦人科部長 桑江千鶴子、社団法人日本医師会常任理事 保坂シゲリ
- ・眼科医として
日本医科大学眼科学教室准教授 堀純子、日本医師会女性医師支援委員会委員 福下公子
- ・自分の命を主人公に(在宅医療にかける)
緩和ケア診療所ふじ内科クリニック院長 内藤いづみ
日本医師会女性医師支援委員会委員・日本医師会女性医師バック中央センター統括コーディネーター 秋葉則子
- ・病理の醍醐味
独立行政法人国立成育医療センター病理診断部部長 中澤温子、東京女子医科大学医学部第一生理学教室教授 川上順子



9

女性医師支援センターホームページ



平成23年7月29日開設

【主な内容】

- ◇ 支援情報
 - ・各種制度の紹介
 - ・女性医師バンクの事例紹介
 - ・活躍中の女性医師の紹介
- ◇ よくあるご質問
- ◇ 各地の女性医師相談窓口のホームページへのリンク 等

ホームページURL www.med.or.jp/joseiishi/



10

「2020.30」推進懇話会の開催

本会の「女性一割運動」についての数値目標を達成するため、女性医師会員に本会の組織・運営・活動に関わる理解を深め、将来、本会の活動に参加して頂くことを目的として開催

『2020.30』推進懇話会（第1回） プログラム

日時：平成24年1月27日（金） 14：00～16：00
場所：日本医師会館 小講堂

司会：常任理事 保坂 シゲリ

開 会

接 拶

議 事

1. 日本医師会の組織と事業内容
2. 日本医師会の運営の実際
3. 当懇話会について

総合討論

副会長 羽生田 俊

副会長 羽生田 俊

常任理事 今村 聡

常任理事 保坂 シゲリ

出席者 85名



11

<参考>

「2020年30%」の目標実現に向けて 日本医師会の積極的改善措置（ポジティブ・アクション）

役員会承認（23.3.9定例記者会見発表）

【趣旨】

平成22年12月、第3次男女共同参画基本計画が閣議決定され、この中で「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待する」という目標が改めて明記されるとともに、各分野の女性の積極的登用についての成果目標が掲げられたところである。

日本医師会においても、以下の通り、成果目標を掲げて積極的改善措置（ポジティブ・アクション）に関する取り組みを進めていく。

【成果目標】「女性一割運動」

1. 平成24（2012）年度までに、委員会委員に女性を最低1名登用！
女性一割に！
2. 平成26（2014）年度までに、理事・監事に女性を最低1名、常任理事に女性を最低1名登用！役員の女性の割合を一割に！